

信条

本会は、同窓生相互の連絡を密にして親睦を深め、社会学部及び法政大学の発展のために活動することを目的とする。(会則第3条)

法政大学社会学部同窓会報

Vol.62

法政大学社会学部同窓会

発行人 中正美(同窓会会長)
編集人 吉川新吾(会報委員長)
〒194-0298 東京都町田市相原町4342
法政大学4号館社会学部A棟11階
TEL・FAX 042-783-2421
http://www.hoseisoc-dousokai.jp/
郵便振替口座 02東京00140-1-63762



昭和基地の空撮



南極の夜空に広がるオーロラ



氷海を進む「しらせ」



越冬隊長を務めた澤柿教授

南極地域観測隊越冬隊長として

6カ年計画の総まとめと、次期計画への橋渡しを遂行

2020年11月からこの3月末まで、文科科学大臣の委嘱を受けて、第63次南極地域観測隊越冬隊長として南極・昭和基地における観測業務に携わってまいりました。520日あまりにおよんだ南極圏での任務を終えて、この3月末に無事に帰国したところです。

やく南極・昭和基地に到着しました。一息つく間もなく越冬に向けた物資や燃料の輸送作業を行い、22年2月1日に昭和基地の維持管理を引き継いで、わずか32名だけで外界から隔離された孤立環境での生活が始まりました。



昭和基地にやってきたペンギン

設することができました。このほか、気象観測、オーロラ・地磁気・温室効果ガス・地震・重力・ペンギン生息数など多項目のモニタリングなどを実施しました。

2023年初夏、新型コロナウイルスの感染拡大は収束しつつありますが、この3か年で世の中が大きく変化し、様変わりしてしまいました。国内では、ウクライナ侵攻によるエネルギーや食糧問題がもたらす急速な物価高、そして若者による首相襲撃事件。明る

から生じていることばかりではありません。やるせない気持ちになってくるのは私だけではないと考えます。さて、22年の総会では、久々に会員の皆様の元気なお姿を拝見し、大変うれしく思いました。短い時間ではありましたが、リモートでご参加いただきました皆様にも総会を盛り上げていただきました。誠にありがとうございました。

昨年年度の実践では、大卒者に対する「職業社会学」に関する「社会学部」において、「社会学部を卒業して職業に就く」をテーマに、OBを講師に招き、職業選択から経験を積み重ねていく中での不安や疑問を直接問答して展開する機会を持つことができました。非常勤講師・依田素味先生のご協力、同窓会として学生の皆さんにどのような支援・協力ができるかという視点から生み出された取り組みでした。

おわりに、「感動」をひとつお届けしたいと思えます。燕が飛び交う田植えのとき、苗を植えたばかりの田圃は、一面が水鏡と化します。夏の雲が鮮やかに映し出される様は圧巻です。皆様の心の中に映し出してみてください。

社会学部75周年に向けて

準備を進めましょう

社会学部部長 宇野 斉
同窓会名誉会長



宇野斉社会学部部長

2022年度は学部創設70周年でした。コロナ禍により残念ながら静かにお祝いすることになりました。その中でも学部優秀卒業論文集には過去最大数の11篇を掲載できました。同窓会の皆様方から表彰と記念品

をいただきました。感謝します。卒業生はコロナ禍で様々な事情もあつて卒業に至らぬ学生もおり、680名ほどでやや少なめで

22年度末に退職された先生方は、定年の池田寛二先生と稲増龍夫先生、選定年の関川浩先生、転出の多喜弘文先生、の4名でした。さて、23年度からは新たに高橋洋先生(環境政策論

新入生は820名(男子440/女子380)ほどです。定員管理方式が各学年別から在籍学生合計数に変更されたため、やや多い入学者数になりました。そして、新学期からはほぼすべての授業が対面開講に復帰しました。全学年学生の

キャンパスへの登校で、にぎわいや一部での混雑も戻りつつあります。5月中にはコロナ禍にかかわる学内での制限が原則終了し、すべての活動がコロナ禍前の19年度レベルに戻ります。さらにリモート技術を活かした新しい状況に向かっています。オンライン授業は大規模授業だからというだけでなく、教育効果の観点からも担当教員が熟慮して採用しています。

I・IIと大森翔子先生(メディア社会入門、社会問題とメディア)に赴任いただきました。

また、演習室の机椅子の入れ換えが進行中です。秋学期からは全演習室で従来の3人掛けの机から一人用

これから同窓会の充実を図り、社会学部75周年を盛大にお祝いできるように、準備を進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

苗が育ち大きく実るよう

社会学部の支援を続けます

社会学部同窓会 会長 中正美



中正美同窓会会長

2023年初夏、新型コロナウイルスの感染拡大は収束しつつありますが、この3か年で世の中が大きく変化し、様変わりしてしまいました。国内では、ウクライナ侵攻によるエネルギーや食糧問題がもたらす急速な物価高、そして若者による首相襲撃事件。明る



大学卒業から5年間で社会学博士に

多摩キャンパスで学び追究した学生生活を振り返って

宇野社会学部長にご紹介いただいた木暮美菜さん。2023年3月博士課程修了の社会学博士。現在は淑徳大学地域創生学部の助教で、法政大学社会学部兼任講師を務め、法政大学ソーシャル・イノベーションセンター連携研究員でもある。



木暮美菜さん

高橋 社会学部長の宇野先生から、今年3月に博士課程を終えた優秀な卒業生がいるというお話をお聞きし、社会学部は既に卒業されていますが、このコーナーでインタビューさせていただけます。最初に、社会学部を志望した理由を教えてください。

木暮 入学前にイメージしていた大学生活は、どちらかという田舎の方で、その周りに学生が住んでいるというものでしたので、多摩キャンパスは大学生らしい場所という感じでした。それに、食堂とか、芝生とか集まれる場所が多く、先輩や友達との交流が特別な体験だったなと思っています。通学は2時間半かかりました。

高橋 密集感の無いキャンパスの良さ(笑)。ゼミで研究された事が博士課程まで繋がったようですが、ゼミではどのような活動を？
木暮 ゼミでは消費者心理学について学びました。マーケティングのコンペティションに出場する準備で結構忙しかったです。販売プロモーションの企画を

半年間練り、10分間で発表するという大会です。3年生の時には12人のチームで出場した、英語でプレゼンテーションするMarketing Competition Japan (MCJ)で3位に入賞しました。高橋 素晴らしいですね。その後大学院、博士課程と進まれ、現在は大学教員として活躍ですが、最後に、今後の抱負についてお聞かせください。
木暮 この4月から淑徳大学地域創生学部の助教をしています。今興味を持ってるのは博士論文(「ソーシャルメディアにおける価値共創メカニズム」)にも



佐藤成基先生

教授会主任として入試を担当、多様な経路で社会学部生を見出す社会学を通じて「高度なりテラシー」の習得を

佐藤 成基 教授 (「社会学理論B」担当)

まずは自己紹介を。現在、社会学部の教授会主任をやっている佐藤成基と申します。2005年から法政の社会学部で教えています。

社会学部の先生になられたきっかけは？
学生時代、学部から大学院に進学したのは、卒業でやっていかなさ社会学の研究をこれからも続けたい

と思ったからです。しかし、研究者として研究を続けるとなると、就職先はほぼ大それたありません。法政に来る前は、水戸にある茨城大学の人文学部で数年間教えていました。その前は、日本の大学院で約3年間、アメリカの大学院で約7年間勉強していました。大学という場所以外での経験のない、典型的な「文系」研究者のキャリアといえます。

少子化がさらに進むことで、大学のこれまでの入試、さらには入学の仕組み全般を考え直さなければならぬ時期に来ています。それに対する一つの方法は入経路の多様化です。これは入学者を確保するための「リスクヘッジ」でもありますが、かつて、大学への入学方法は2月に行われる一般入試が基本でしたが、今では、指定高校からの推薦、自己推薦、留学生、大学共通テストなど色々なものがあります。それに加え、法政の場合は付属校からの入学者も多数います。そのた

め一般入試を通じた入学者は、現在でも全体の半分以下になっています。社会学部では今後、指定校推薦の数を増やす予定です。今年度は814名の入学者中173名でしたが、将来はこれを200名程度まで増やしていく予定です。指定校からの推薦は、ある意味、入学者の「青田買い」なわけですが、出身高校のレベルはどうあれ、安定的に学習意欲のある学生に来てもらうのにはとても良い方法だと考えられています。また、全国の多くの高校から、指定校の希望が寄せられて

社会学部卒業生のみなさん 交流と連携を深めましょう！
在校生のみなさん 業界研究・就職相談も歓迎します！

株式会社 日本ビジネスマッチング

代表取締役 三上 純昭 昭和53年(1978年)3月 社会学部 社会学科 卒業
体育会スケート部スピード部門OB会 会長
株式会社バイク王&カンパニー 取締役 監査等委員



国際証券(株)[現 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)] 企業開発部長を経て、平成13年(2001年)11月、㈱日本ビジネスマッチングを設立

会社を設立し20年が経過しました。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-9 須藤ビル4F

URL : www.matching.co.jp

MAIL : mikami@matching.co.jp

2022年度社会学部優秀卒業論文を表彰

2023年3月13日、多摩キャンパスにおいて、2022年度社会学部優秀卒業論文の表彰式が行われました。本年度は8名の学生の卒業論文が優秀論文に選出され、中正美同窓会より賞状と記念品が贈られました。皆さんの今後の活躍を心から期待しています。



〈2022年度社会学部優秀卒業論文〉

氏名	学科	論題(タイトル)
中村 文香	社会学科	女性雑誌『SAY』読者投稿欄「シリーズ／ほんとうの私」にみる二項対立する女性の性愛言説 ―性的規範の衝突と葛藤―
田村 暖	社会学科	1984年のヨーゼフ・ボイス来日における日本側の受容の分析 ―時代の狭間の芸術家―
大久保 亮	社会政策科学科	行政が重症外傷診療体制の質向上において果たす役割 ―東京都における外傷センター創設を通して―
服部 祐斗	社会政策科学科	令和4年度 学位論文 都市農業の存続のために ―21世紀の都市農地の生き残り方―
横田 涼華	社会政策科学科	行動経済学における双曲割引の検証～時間的非整合性のある行動と成績の関係～
宮森 早紀	社会学科	中国人移民とアメリカ ―その歴史と現在
水野 そよか	社会学科	外国人市民の政治参加 ―川崎市・新宿区を事例として―
牧野 純	社会学科	うつ病患者の回復過程における困難と患者による自己管理について

〈受賞した学生からのコメント〉

中村 文香……………
論文では女性雑誌『SAY』の読者投稿欄から、1980年代の日本の女性に向けられた女性解放の思想とそれまでの保守的な思想との二項対立した性愛言説を明らかにすることを目的としました。例えば女性の性への積極性について解放的な言説と保守的な言説とが同時に見られ、そうした正しさの定まらない状況で女性が語る悩みをその分析対象としました。

人よりも少し時間がかかってしまいましたが、先生方と友人達のおかげで名誉ある成果をあげられたことに深く感謝しています。

田村 暖……………
私は現代美術家、ヨーゼフ・ボイスの1984年の来日をめぐって、当時の日本でいかにしてそれが受容されたのかということについて、来日時の雑誌や新聞の記事を収集し分析することで探究しました。ボイスをめぐって賛否が分かれただけでなく、彼に熱狂する人々を支持するか否かでも意見が割れていたようです。

芸術と社会との関わりについて考えてきた私の学生生活が、こういった形で評価され、非常にやりがいを感じております。

大久保 亮……………
私は行政が重症外傷診療体制の質向上において果たす役割を、医療機関や行政、国会議員へのインタビューやアンケート調査により考察をしました。その中で行政が果たす役割は、外傷センターの創設以外に多岐にわたることを明らかにしました。優秀論文受賞の感想は、コロナ禍において救急医療機関が大変多忙の中、多くの方が協力してくれたことにより完成した論文なので、ご協力いただいた方々への感謝です。また、その協力に応えようと頑張った論文なので、それが評価されたことは率直に嬉しいです。

横田 涼華……………
本論文は、塾講師のアルバイト経験から生じた疑問である「定期試験の勉強を計画通りにできる場合とできない場合の違いはどこにあるのか」について行動経済学の観点から明らかにすることを目的としています。私の出身校である法政大学第二高等学校をはじめとする付属高校に通う生徒を対象にアンケート調査を実施し、検証を行いました。

この度、このような賞を頂戴し、誠に嬉しく思います。この表彰は私個人の力ではなく、指導して下さった先生や切磋琢磨した仲間のおかげだと痛感しております。本当にありがとうございます。

宮森 早紀……………
この度は、優秀卒業論文にご選出いただき誠にありがとうございます。本論文は、アメリカに渡った中国人移民について、その歴史と近年の中国への人材還流についてまとめました。現在、米中の対立が注目されていますが、中国人移民が両国の間で翻弄されてきた歴史と、その中で変化した中国移民のアイデンティティはとても興味深いものでした。2年次から継続して研究してきたこともあり、このような評価をいただけたこと大変うれしく思っております。

牧野 純……………
この度は優秀卒業論文として選んでいただき、誠に光栄に思います。論文では、うつ病患者の回復過程における困難に着目し、病いに対処しながら生きていく患者が、病いからの「回復」を求める社会の中で葛藤を抱えていること、病人役割を得ることによって生じる役割期待による苦しみについて論じました。

大学生活の中心であったゼミにおける学びの成果を形にできたことを大変嬉しく思います。心から感謝申し上げます。



高橋洋教授

初めまして

「エネルギー政策を専門とし、環境政策論」を担当

社会学部教授 高橋 洋

2023年4月に社会学部社会政策科学科に着任しました。高橋洋と申します。3月までは、山梨県の都留文科大学で公共政策全般を教えていました。当学では、環境政策論を担当します。専門はエネルギー政策で、特に再生可能エネルギーを中心とした気候変動政策、電気事業を中心としたエネルギーシステムの規制改革を研究しています。近年気候危機が叫ばれ、脱炭素が不可避であることは政策的要因から導人が遅

れており、欧州などの先進事例を調査して、日本の政策のあり方を検討しています。法政大学は、サステイナビリティーへの関心が強く、複数の学部で再生可能エネルギーや気候危機を研究されている先生方がいらっしゃいます。これらの先生方とも連携し、人類史上最大の環境問題に対して、柔軟な発想から政策提言を行っていく所存です。



大森翔子先生

初めまして

有権者のメディア接触が政治意識に与える影響を研究

社会学部 専任講師 大森翔子

4月1日付で社会学部メディア社会学科に専任講師として着任いたしました。大森翔子と申します。政治学をバックグラウンドとして、政治コミュニケーション、政治行動論研究に従事しております。私の研究関心は有権者のメディア接触が政治意識に与える影響にあり、様々な調査実験を通じた検討を行っています。しかしメディア環境は日々進化しており、政治関連に限定して

も、捉えることが難しくなっているように感じます。社会学部の先生方の研究や、講義・ゼミにて学生の皆様の新鮮な視野に触れ、自身の研究を深めてゆきたいと考えております。また、私は大学院生時代から東大・朝日新聞共同調査にマネージャーとして参

加しており、国政選挙時の候補者の政策位置や有権者向けポットマッチなどがウエブ上で公開されております。同窓会員の皆様におかれましては、ご関心がございましたら是非ご覧いただければ幸いです。これからどうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

法政大学体育会水泳部顧問
法政大学法友体育会事務局長
法政大学監督会事務局長
法政大学校友会スポーツ部会長

総監督 **山重 美登士**
1971年3月卒業
税理士法人 山重会計事務所
〒244-0816神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1000番地
TEL045-864-1666

中央A | 専門学校
中央福祉医療専門学校
中央アートスクール

理事長 **宮杉 早苗江**
校長

本部 〒323-0022 栃木県小山市駅東通り 2-24-28
TEL 0285 24 1571 FAX 0285 24 2522 msanae@peach.ocn.ne.jp
http://www.chuo-fukushiiryuu.ac.jp http://chuo-art.jp http://chuo-ai.jp/
1970年3月卒 田沼肇ゼミ

村串 仁三郎 法政大学名誉教授 著
『高度成長期日本の国立公園』
―自然保護と開発の激突を中心に―
(時潮社、3500円)
1959年3月卒 長谷川博ゼミⅡ部

法政大学社会学部同窓会

幹事 **山田 道生**

〒017-0803秋田県大館市東台2丁目1-64
TEL.0186-43-2980
1963年卒 笠原ゼミ

法政大学社会学部同窓会

幹事 **藤永 正順**

自宅 〒733-0815 広島市西区己斐上 3-3-28
TEL. 082-272-5534
1957年3月卒 中島正ゼミ

東産業株式会社 焼肉店舗設備

取締役副社長 **河村 勝弘**

東産業株式会社 〒124-0011 東京都葛飾区四つ木 3-7-12
TEL: 03-3694-6392 FAX: 03-3694-6720 mobile: 080-3259-4708
福岡営業所 TEL: 092-409-0663 (応用経済学科卒の方、連絡乞う)
1963年3月卒、土生長穂ゼミ
https://www.8929.co.jp E-mail: info@8929.co.jp

東西南北

会員の 短信から

※卒業年は3月時点に記載しています。

【新潟県】

新潟市 66年卒 竹石 松次
同窓会長様へ

社会学部及び大学のために尽力され、OB各位の結束にご努力されていることについて敬意を表します。令和5年1月1日の同窓会報拝見させていただきまし

た。拙著の掲載をお願いしたところ、早速載せていただきありがたく感謝申し上げます。(编者)

2022年の4月、国立市在住のいとこから、叔父が中国、タイ、ビルマミヤンマー、シンガポールで戦った従軍記録があると

言われ、新潟に送ってもらいました。一読し体験者でなければ分からない生々しい内容でした。ロシアによるウクライナ侵攻で、罪もな

い市民が多く犠牲になって

いる実情からも戦争が如何に無意味であり、人々を苦しめる暴挙であるかという

糾弾の意味で出版したものであります。紹介記事を通じて、より多くの人に手に取って欲しいと願っています。

小生も来年(23年)は80歳の

大台に到達します。体力も衰えてまいりました。そこで同窓会の会費です

が、向こう3年間分と手数料合わせて1万円をお届けします。結びに同窓会の一層の繁栄を祈念します。

(佐藤毅ゼミ)

〔竹石様 会費前払いと手数料ありがとうござい

ました。『七十五年目の戦争実録』を読ませていただき

ました。戦場に向かった人々の家族への想いはすな

わち平和への想いであることを、改めて知らされまし

た。(编者)

〔東京都〕

練馬区 77年卒 白井 秀樹

昨年は、コロナ禍で金山ゼミOB・OG会も総会が

開催されませんでした。秋のゼミOB・OG会リク

レーションで金山先生と3年ぶりにお会いできまし

た。92歳とも思えぬ元氣は

つらつていらつしやいます。相変わらず舌鋒鋭いコ

メントをいただきました。変わってないな!

(金山行孝ゼミ)

練馬区 84年卒 植田 孝良

法政大学を卒業して早いもので40年になります。今は仕事も退職してリタイア

し、読書をする時間を持つ

ようになっています。先日、古書のネット書店で大学時

代に興味がありませんながら読んでいなかったダニエル・ペ

ル著「資本主義の文化的矛盾」(上・中・下3冊講談

社学術文庫)を2000円で入手できたので、読んで

みたいと思っています。電子書籍がはやってい

ますが、やはり紙の本が良いと思っ

ています。(稲増龍夫ゼミ)

渋谷区 57年卒 太田 昭郎

学窓を巣立って66年すぎ

る。神宮球場に行き母校の出場時に校歌を斉唱すると

き在校生を感した。麻布校舎、市ヶ谷校舎にそれぞ

れ2年ずつ就学して、社会人になっても駅伝・野球以

外でも卒業生の活躍がみられると我が事のように嬉し

い。母校よ永遠なれ。(村山重忠ゼミ)

小平市 91年卒 藤森 龍平

ラグビー部の関係者と仕事をしています。強くなるには大学のバックアップが必要

です。強いラグビー部を見たいです。(増島宏ゼミ)

狛江市

63年卒 鈴木 暁

2022年末、例年の賀状(2022年用は約150枚)を中止としたた

め(親族等を除く)、年末を少しゆとり過ごしま

す。が、年齢(82歳)に相応しい年末となります。今

年(22年)も入院を2度(ヘルニア手術と大腸の痛み)

体験しました。それでも新聞(一部切抜きは後日)を

読み、読書(新書、文庫)は欠かせず、週2〜3回

ファミレス行きはささやかな運動でもあります。

(増島宏ゼミ)

〔千葉県〕

富津市 67年卒 大沼 邦彦

社会学部同窓会報で登場してほしい人がいます。テ

レビ東京の人気番組「孤独のグルメ」原作者の久住昌

之さんです。法政大学社会学部出身。64歳。漫画家、

エッセイスト、イラストレーター、どれも活躍中

です。有名人ですので取材は難しいかもしれませ

んが、できれば会報の紙面で登場していただくとうれ

しいです。宜しく願ひ致します。(土生長穂ゼミ)

川崎市 78年卒 仲田 広道

67歳となった現在も運用コポレートガバナンスの

向上の観点から、株式市場に株主として接点を持ち

しんでいます。当時、就職部の阿久津興一さんとの

交流は現在も続いています。社会学部長であった中林賢

二郎先生のゼミも楽しい思い出です。校舎もすつかり

建て替わり、法政の発展も喜ばしい限りです。

箱根駅伝における母校の活躍を大変嬉しく思いま

す。1978年卒としては、江川卓選手の活躍で母校

の黄金時代(六大学野球)を経験してきた者として、東

大に負けることがあるというの信じられない思いで

す(笑)。母校の発展を嬉しく思います。同じゼミ

だった人々に会いたいです。(中林賢二郎ゼミ)

川崎市 63年卒 会田 良

暖かくなりすこずつ落ち着いてきたこの頃、油断

しないように気を付けながら散歩を楽しんだり、適宜

に運動するなど体を動かしているところです。コロナ

禍で生活が一変しました。今できることで毎日を

楽しむことが大切です。(増島宏ゼミ)

横浜市 83年卒 川井 貴正

「法政大学に受かったが、多摩校舎だったので止め

た」という話をよく聞きます。本当に、この不便な立

地で社会学部は生き残れるのでしょうか?なぜこ

んな場所に移転したのか?22世紀に向けて検証してみ

るべきではないでしょうか! (大山博ゼミ)

〔川井様、様々な捉え方があり、議論があるよう

です。今号2面の「学生インタビュー」を読んでいただ

けると、多摩キャンパスもまんざらではない学生が多

くいることも理解できます。(编者)

横浜市

83年卒 川井 貴正

「法政大学に受かったが、多摩校舎だったので止め

た」という話をよく聞きます。本当に、この不便な立

地で社会学部は生き残れるのでしょうか?なぜこ

んな場所に移転したのか?22世紀に向けて検証してみ

るべきではないでしょうか! (大山博ゼミ)

〔川井様、様々な捉え方があり、議論があるよう

です。今号2面の「学生インタビュー」を読んでいただ

けると、多摩キャンパスもまんざらではない学生が多

くいることも理解できます。(编者)

藤沢市 65年卒 湯川 新

(法政大学元教授)

同窓会報がきちんと発行される。これ、とても大

変なこと。関係者の皆さんに感謝しています。11月、散

歩中転倒して前歯3本折った。80歳だから仕方ない

な。①コロナ禍を恐れて3年間東京へ出なかつた。5回

のワクチンのためか、病

気にかからなかつたけれど、頭の中が空っぽになつて

しまった。②友人諸氏がこの数カ月で立て続けに亡くな

った。③今年こそは旅に出かけた

いものです。瀬戸内海方面を意識しています。(本

田喜代治ゼミ)

新会員の紹介(受付期間22年12月~23年4月)

柳澤 哲也(93年卒、相良匡俊ゼミ) 木暮 美菜(18年卒、諸上茂光ゼミ)

会員増員 1会員1名紹介キャンペーン!

2022年6月~2023年5月の会員の入会・退会数の状況は、次のようになっています。

○高齢等による退会者	12名	} 名簿削除者19名
○住所不明者	5名	
○逝去者	2名	
□新規入会者		名簿付加者 8名

この現状が続けば、同窓会活動の継続が困難となってしまいます。つきましては、「2023年度1会員1名紹介キャンペーン」にご協力ください。同封の返信ハガキで社会学部卒のクラス仲間・ゼミ仲間・サークル仲間をご紹介ください。その方のお名前、ご住所をお知らせいただければ、事務局より入会案内を差し上げます。同窓会存続のため、在学生への支援活動を活性化させるため、ご協力をお願い致します。(事務局)

寄付者ご芳名

22年12月~23年4月 (敬称略)

皆様からお寄せいただいたご厚志に心から感謝いたします。同窓会の貴重な運営費として活用させていただきます。

- 10口 匿名希望
- 7口 笠原邦丸
- 5口 澁澤知宏
- 4口 土屋幸雄
- 4口 吉田慎吾
- 4口 木村誠
- 2口 田南一郎
- 2口 植田孝良
- 2口 内田昌宏
- 2口 濱岡公治
- 2口 都築勝彦
- 2口 山谷次夫
- 2口 福田伸夫
- 2口 小花唯男
- 2口 高野忍
- 2口 杉原典男
- 2口 栗原政實
- 2口 会田良
- 2口 村上良三
- 2口 榎本幹雄
- 2口 鈴木光枝
- 2口 赤池慎一
- 2口 竹石松次
- 2口 石倉麻里

法政大学社会学部同窓会 監事
法政大学2部九条の会 世話人
ブーチンはウクライナ侵攻をやめよ! 核戦争反対!

司法書士 **木村 誠**

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-7 翔和多町ビル2階
TEL03-3256-7058/FAX03-3251-2205
1977年3月卒 土生長穂ゼミ

HIG 代表取締役 **濱岡 公治**
1976年3月卒業

有限会社 エイチアイジー
〒734-0023 広島市南区東雲本町1丁目8番2号 HAMAOKA.BLD 201
TEL (082) 890-8060 FAX (082) 890-8066 携帯090-8996-2096
E-mail hig@higcat.ne.jp 事故・故障24時間安心ダイヤル0120-024-024

法政大学社会学部同窓会

理事 **塩田 利明**

〒347-0012 埼玉県加須市多門寺1153
TEL 0480-68-5118
1967年3月卒 土生長穂ゼミ

法政大学社会学部同窓会

常任理事 **中村 一廣**

自宅〒277-0086 千葉県柏市永楽台3-8-3
1961年3月卒 増島宏ゼミ

すき焼き・しゃぶしゃぶ・フランス料理
創業明治5年 伝統の味と風情をご堪能下さい

吉 寅

吉崎 秀夫 埼玉県川越市元町1-9-3(市役所通り)
TEL. 049-222-0102
1961年3月卒 逸見重雄ゼミ

法政大学名誉教授
NPOサポートセンター理事

法政大学社会学部同窓会

副会長 **山岸 秀雄**

携帯090-1461-1525
hideoyamagishi7@gmail.com
1969年3月卒 佐藤毅ゼミ

建設・不動産業界で独立起業

「人の人生に影響を及ぼす人になる」

高校時代、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件と世相が不安定な中、たまたまうち、ルーゾックス、アムラー、ブリクラなど不思議なものが流行していました。なぜ流行するのか理解するため、法政大学社会学部に入り、法政二高を不合格になっており、リベンジでもありました。

学生時代は鉄道研究会に所属。JR全線に乗ると目標を定め、その資金をためるためアルバイトに励みました。アルバイトは、寝台特急北斗星号の食堂車でホール係や調理補助、特急車内のワゴンサービスも。大好きな列車に乗れて、それなりのお給料ももらえ、本当に楽しいアルバイトでした。在学中はかきませんでしたが、24歳でJRは全線乗車を達成。勉強はあまりしていません。たかもしれません(笑)。

が、多摩図書館の閉架図書にこもって、本を読むことが大好きでした。ゼミは三溝信ゼミ。スイスの心理学者「ピアジェ」の認知発達理論で卒論を書きました。

いわゆる「就職氷河期」で就職はかなり苦戦しました。エントリーシートは約50枚提出。当初は、鉄道・旅行業界に就職したいと考えましたが、9・11のテロの影響で叶いませんでした。次に考えた業界は建設・不動産業界。某ゼネコンの「地図に残る仕事」という言葉が好きで、自らの仕事で形になって残る仕事をしたいと思っていました。結果、住宅メーカーに就職しましたが、就職後2年半経ったとき、その会社が

倒産。一方、自ら生き抜いていける力をつけなければとも思い、宅地建物取引士、行政書士、ファイナンシャルプランナー等、様々な資格を取りました。2010年、懇意にしていた千葉支店長が他のハウスメーカーに転職することになり、清水もついてこいという話になりました。

17年、妻の地元・板橋区で独立しました。前職で担当した不動産仲介部門が好業績で自信がついたこと、所有マンションの値上がりで売却益を事業資金に投資できる目途が立ったことから独立起業を決心。たった1人で船出しました。

19年には、松戸市で35年続く事務所・店舗の賃貸仲介・管理会社を事業承継に伴うM&Aで子会社化。22年には、外注リフォーム工事を内製化したいという思いと、母体に近く土地勘もあったことから、八王子市で30年続いた水回り交換と大工工事の専門会社も事業承継に伴うM&Aで子会社化し、現在グループ3社、社員10人の代表となりました。

職人不足と呼ばれる建設業界ですが、その現状を少しでも改善したいと思い、今年4月からは、社員1人を会社の費用で「東京建築カレッジ」に2年間、通わせることにしました。今後は「人の人生に影響を及ぼす人になる」を目標に、社員の採用と育成、事業の拡大発展を目指す多摩地域のため貢献していきたいと思えます。同窓生の皆さん、どこかでお会いしましょう。

シャカイ人

OB・OG



形になって残る仕事かと思っていた清水さん。独立起業し、現在はグループ3社、社員10人の代表として奮闘する

(株)マルカ創芸 タウン不動産(株) 代表取締役

清水 英之さん

02年3月卒、三溝信ゼミ

私論

日本はどん底、NPOの出番だ

山岸秀雄 (69年3月卒、法政大学名誉教授、NPOサポートセンター理事)

今年「NPO(民間非営利組織)法」が施行(1998年)されてから25年、私がアメリカや各国のNPO(NGO)を日本に紹介してから35年が経ちました。法政大学を卒業、労働運動を目指して電電公社(現在のNIT)に入社し学生運動、労働運動、市民運動を経て生涯社会運動家を目指した旅はついにNPOにたどり着き、新たな社会運動としての地位を築きました。私はブレイマンのように大学院教授として母校に帰ることができませんが、NPO運動は社会学部で学んだ成果だと思っています。

NPOとは「ボランティアや寄付等の社会的資源を活用して公共的サービスを提供する独立・非営利の民間事業体」のことです。市民の有志が集まり、高齢化社会、貧困、環境問題など地域や社会の様々な問題解決に取り組みんでいます。

今社会で問題になっている行政、企業の暴走、不正癒着、非効率な社会構造はあまり変わっていません。行政、企業に次ぐ、第3のセクターである市民セクターの確立と活躍が期待されています。日本社会は海外の国々の制度から遅れること30年とも100年ともいわれています。NPOは成熟した市民社会への一歩を築く道具といつてよいでしょう。明治維新以来の社会変革をもたらす制度だと思つて運動してきました。

日本のNPOは5万団体以上になり、「経済力は500万円以上の収益を上げているのが60%、50万人の雇用を生み出しています。アメリカのNPO労働者は全米労働者の8%近くに達し、各国のNPOのGDPも7%を占める」までになっています。

人の生きがいはいかに社会貢献を実現するかにあると思います。卒業生同士NPOの舞台で一緒にしたいものです。(佐藤毅ゼミ)

随想

庭園で知る母校の歴史

杉原典男(80年3月卒、中野収ゼミ)

昨年春、国分寺駅近くの都立殿ヶ谷戸庭園を訪れた際、庭園ボランティア養成講座が始まることを知った。この庭園は、大正時代に三菱合資会社社員で、のちに南満州鉄道副総裁も務めた江口定條により別荘とともに築造され、後に岩崎弥太郎の孫にあたる彦弥太が

引き継ぎ完成させたもので、現在は都立の庭園として公開されている。国分寺崖線を利用した高低差のある回遊式林泉庭園で、長く親しんだ場所だったこともあり講座に申し込むことにした。

授業の中で、庭園内にある「随宜園」と揮毫された大きな扁額の話があった。「随宜園」は、江口が命名した庭園の名前であり、その扁額の揮毫を、日本への留学経験もあり親交のあった湯化龍という清朝末から中華民国初期の政治家に依頼したとの話であった。私は「日本への留学経験」の部分に気がなり、「H O S E I ミュージアム」に問い合わせてみた。すると、湯化龍は「和仏法律学校法政大学時代の清国留学法政速成科1907年卒業生で、成績優秀な人物であった」ということがわかった。

さらにミュージアムの方に教えていただいた資料を

読むうちに不思議な繋がりに気がついた。湯化龍が学んだ法政速成科には、当時の大学総理梅謙次郎が依頼した「一流の法学家」が集まり、その中には戦後法政大学の学事顧問や初代通信教育部長も務めた美濃部達吉の名もある。一方戦後の「随宜園」は、財閥解体や駅前再開発等、岩崎家と周辺環境の激変により消滅の危機を迎える。この危機に際し、庭園の存続を望む多くの人の声に応え、都による買取と整備を決定したのが達吉の長男である美濃部亮吉都知事であった。美濃部知事も、学生時代大内



都立殿ヶ谷戸庭園内にある「随宜園」の扁額



殿ヶ谷戸庭園内の随宜園

兵衛に師事し、その後法政の経済学部教授を務める等、法政と接点を持つ人である。

庭園の歴史に関わった人々と母校の接点を知ったこともあり、その後の授業や実習も飽きることもなく受講することができた。年明けからは庭園ボランティアの活動に参加している。

法政大学社会学部同窓会

会長 **中正美**

TEL.090-8586-1242
E-mail:qqkt5de9k@mocha.ocn.ne.jp
1975年卒

*自由と進歩、言論・報道の自由は命
*団塊世代OB、それなりに努力中です
フリーランス・ジャーナリスト
日本ジャーナリスト会議 会員

山田 幹夫

1975年3月卒 芝田進午ゼミ

法政大学社会学部同窓会

副会長 事務局長 **高橋 敏**

TEL.090-1802-2908
E-mail: binta0185@gmail.com
1978年3月卒 金山行孝ゼミ

職業能力開発短期大学校 東京建築カレッジ

教務主任 **吉川 新吾**

元 織研新聞記者
建築やアパレル・ファッション業界で働きたい方の相談歓迎!
E-mail shingo-y@festa.ocn.ne.jp
1987年3月卒 田中義久ゼミ

法政大学社会学部同窓会

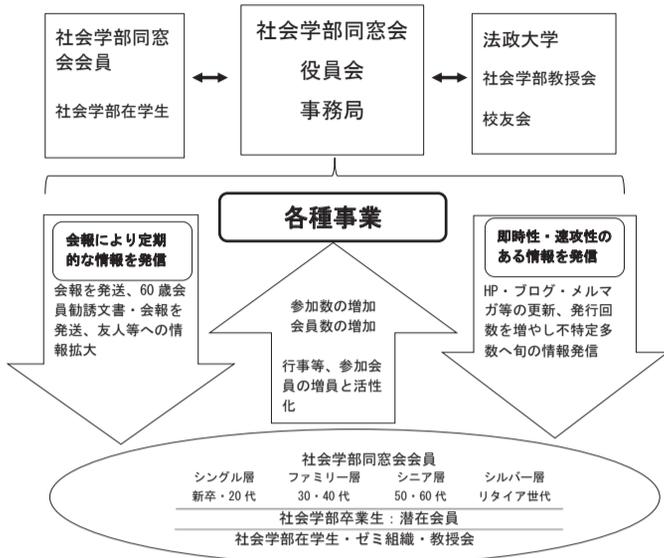
事務局長 **赤池 慎一**

携帯 090-5585-1049
akaike@mri.biglobe.ne.jp
1986年3月卒 田中義久ゼミ

- 役員会 リモート会議(2か月に1回)
- 総会 市ヶ谷校舎にて6月の第二土曜日に開催し、必要に応じ臨時に開催する。
- (3) Webを活用しての情報発信
 - ホームページは、原則、月1回の更新を促進する。
 - ホームページの更新に応じてメールマガジンを発行する。
 - SNSを利用して「つながる同窓会」事業を展開する
- (4) その他
 - 「2023年度の基本方針」に則り、随時、事業を展開していく。

社会学部同窓会活動デザイン

イベントの企画・報告の情報発信等を通じて活動の周知を図り、会員数・参加数の増加を目指します。しかしながら、正会員不足と共に、役員不足が深刻な課題です。心意気を持った会員の志願をお待ちしております。



第4号議案 2023年度予算(案)

収入の部		
費目	予算額	備考
前年度繰越金	1,256,435	
会費	1,000,000	年会費3000円
寄付金	150,000	
広告料	300,000	会報62号・63号
総会会費	175,000	総会参加費5,000×35人
利息	500	三菱東京UFJ
終身会員徴収事務代行手数料	10,000	
雑収入	0	
計	1,635,500	
合計	2,891,935	
支出の部		
費目	予算額	備考
事業費	250,000	卒業祝賀会支援、優秀論文表彰等、駅伝応援、キャリア支援事業他
総会費	175,000	開催の連絡、懇親会、他
会議費	50,000	役員会・事務局会議等、ZOOM運営経費等
会報発行費	550,000	
印刷費	350,000	会報印刷(62号・63号)
発送費	150,000	会報発送(佐川メール便)
雑費	50,000	会報編集交通費等
渉外費	80,000	
賛助金他	50,000	他学部同窓会祝い金等
慶弔費	30,000	
事務局経費	1,316,000	
人件費	600,000	事務局員
交通費	80,000	会報発送、事務局会議、その他
通信費	70,000	
備品費	50,000	
消耗品費	50,000	乾電池、インク、ラベルシール、コピー用紙等
印刷費	70,000	名刺、封筒、葉書等
HP経費	300,000	更新コスト2カ月 サーバー借用料、他
事務室賃借料	36,000	電話代・冷暖房代・水道代含む
雑費	60,000	振替料金、振込手数料
小計	2,421,000	
予備費	470,935	
計	2,891,935	
単年度収支		
次年度繰越金		
合計	2,891,935	

2022~2023年度 役員

1 役員(任期2年 2022~2023年度)			
名誉会長	宇野 齊 (社会学部長)		
会長	中正美		
副会長	吉崎秀夫、山岸秀雄、星野昌弘、高橋 敏 吉川新吾、中塚史行、赤池慎一、山下勝也		
常任理事	小林直毅、中村一廣、杉原典男、 依田素味、郡司貴志、山田幹夫		
理事	塩田利明、大畑きぬ代、高橋健悦、 細田泰博、澁澤智宏、武井 透		
監事	鶴岡宏明、木村 誠		
幹事	藤永正順、山田道生、小澤雄司		
事務局	赤池慎一、高橋 敏、金子久美子		
2 校友会役員			
理事	中正美		
代表議員	赤池慎一		
3 同窓会協議会役員			
委員	中正美、赤池慎一、郡司貴志		
4 各部門担当			
部	代表	内容	部員
総務部	赤池	総会、事務局会議 役員会、渉外関係の総括 会員拡大、事務局管理	吉崎、杉原、高橋
広報部	吉川	会報担当 Webサイト担当	山田、赤池(+全役員) 中塚、郡司(+全役員)
事業部	高橋	社会と人間セミナー担当 就職活動セミナー担当 卒業祝賀会担当 イベント担当	依田、吉川、小林 依田、山田、赤池 杉原、山岸 赤池、山下、星野、中村

※ 会員からさまざまな情報や意見等が得られるよう、全国のブロックに「連絡員」を置く。

都道府県ブロック連絡員(案)
埼玉県: 吉崎秀夫、神奈川県: 山岸秀雄、東京都: 吉川新吾、千葉県: 中村一廣、群馬県: 武井透、
広島県: 藤永正順、秋田県: 山田道生

社会学部教授会執行部との懇談会を開催 ~社会学部開設75周年に向け協力を確認~

2023年4月17日(月)、社会学部長室にて教授会執行部の先生方との懇談会を開催しました。社会学部長の宇野齊教授をはじめ、教授会主任の佐藤成基教授、鈴木宗徳教授、副主任の二村まどか教授に出席していただき、同窓会からは赤池副会長兼事務局局長、高橋副会長事務局員が出席しました。



出席者で記念撮影

宇野学部長から大学の状況について、本年度からほとんどの授業が対面になったこと、新入生は定員の1.07倍を確保したこと、2022年度の卒業生は800人弱とほぼ例年通りであったことなど、社会学部の近況について説明がありました。また、稲増龍夫教授と池田寛二教授のお二人が22年度をもって定年退職されたことや、関口浩教授が早期退職され、多喜弘文准教授が転出(東京大学准教授)されたこと、さらに23年4月から高橋洋教授と大森翔子専任講師が新たに着任されたとの話もありました。

同窓会からは、会報62号で、退職された先生や新たに着任された先生の寄稿など、執行部の先生方を通じてご協力いた

だしていることに感謝を伝え、会報の教授登場コーナーに執行部主任の佐藤先生、鈴木先生にご登場いただきたい旨を申し入れ、了承していただきました。また、同窓会の23年度の主なる事業予定を説明、社会学部優秀卒業論文への表彰といった事業協力なども前年度に引き続き実施したい旨を伝え、快諾を得ました。

社会学部同窓会の今後についても話題となり、現在の会員数や入・退会の状況を説明、同窓会の事業として今後も学生支援に力を入れていきたいことなどを説明し、社会学部開設75周年に向けて互いに協力を続けていくことを確認しました。

六大学野球春季リーグ戦を観戦 ~声出し応援が戻った神宮で快勝~

5月20日(土)、東京六大学野球2023春季リーグ戦の対東大戦を観戦しました。前日からの雨が上がり、暑くもなく寒くもなく、絶好の観戦日和となりました。

試合は、母校・法政が連打とホームランなどが出て11対0で快勝。観客の声出し応援が戻った神宮球場で、85歳の大先輩や、広島から駆けつけてくれた先輩も参加。校歌を歌い、六大学野球応援の楽しさを満喫しました。

試合後は市ヶ谷まで戻って懇親会。久しぶりの再会を喜び、話に花が咲きました。



三塁側スタンドで記念撮影

合同会社 室 居酒屋 むろ

<https://muro-420.therestaurant.jp/>
(国立駅前まっちゃん横)

営業 17:00~23:00
(ラストオーダー22:00)

定休日 月曜日
※ランチは現在休止しております
※土日は16:00~営業しております

国立市東1-1-26 Kフラットビル1階
電話 042-505-8501

合同会社 室 代表社員 室井 文雄
1978年卒、北川隆吉ゼミ



2023年度 法政大学社会学部同窓会 定期総会 議案書



日程表: 10:30 校舎見学会 正門開放付添へ集合 終了後各自退会

2023年6月10日(土) 13時15分 市ヶ谷キャンパス大内山校舎7階Y705

2023年度 法政大学社会学部同窓会定期総会 ~市ヶ谷の教室と同時にオンラインで開催~

2023年度社会学部同窓会定期総会は本年6月10日(土)に市ヶ谷キャンパスで開催します。オンラインでの同時配信もありますので、遠方の方など、同窓会ホームページを通じてお申し込みのうえ、ご参加ください。

- 1 開催日時 2023年6月10日(土) 13:15より(約1時間45分の予定) ※総会後に懇親会を予定。
2 会場 市ヶ谷キャンパス 大内山校舎7階Y705教室
3 開催形態

総会は上記教室を使用して行い、オンラインでも参加できるようにします(ハイブリッド型)。全国からのご参加をお待ちしております。

- 4 参加方法(オンラインの場合) 社会学部同窓会ホームページを参照してください。
5 総会内容(予定) 総会:活動報告、決算報告、活動計画、予算計画 他 講演:澤柿教仲社会学部教授「第63次南極地域観測越冬隊長として伝えたいこと」(仮題) 参加を希望された会員の方には別途ご案内します。

第1号議案 2022年度事業報告

【2022年度事業一覧】

Table with 3 columns: 月日, 種類, 事業活動内容. Lists various activities from April to March 2023.

第2号議案 2022年度収支・決算及び監査報告

Income and Expense Statement table with columns: 収入の部, 支出の部, 費目, 予算額, 決算額, 差引, 備考.

※この他、社会学部同窓会資産として定期預金5,000,000円を所有しています。

会計監査報告書

法政大学社会学部同窓会 2022年度会計について、監査をいたしましたところ、経費の支出並びに会計処理は適正に行われており、別紙「2022年度決算書」の通り相違ないことを認めます。

2023年 5月 9日

法政大学社会学部同窓会 会計監事 木村 誠

法政大学社会学部同窓会 2022年度会計について、監査をいたしましたところ、経費の支出並びに会計処理は適正に行われており、別紙「2022年度決算書」の通り相違ないことを認めます。

2023年 5月 6日

法政大学社会学部同窓会 会計監事 鶴岡 明広

第3号議案 2023年度事業活動(案)

- 1 基本方針と主な活動 (1) 存在意義の明確化と浸透 会則第3条 「本会は同窓生相互の連絡を密にして親睦を深め、社会学部及び法政大学の発展のために活動することを目的とする」
(2) 事業の計画的な推進と広報の強化
(3) イベント
(4) 会員数の増員と財源確保

2 計画 適時に開催 教授会執行部との懇談会、六大学野球観戦(春・秋)、大人のグルメ散歩(7/8)、職業社会論寄付講座、会報62・63号の編集発行、箱根駅伝激励差入れ、箱根駅伝応援(2024 1/3)、2024年新年会(2024 1/3)、優秀卒業論文表彰(2024 3/24)、卒業祝賀会支援(2024 3/24)、2024年6月8日「定期総会」

- 3 組織活動 (1) 外部組織との連携 ○校友会「支部・団体責任者会議」「卒業生の集い」「新年を祝う会」等への参加 ○同窓会協議会の連絡会議への参加 ○他学部同窓会・経営者懇談会の定期総会・講演会・忘年会・新年会・記念式典等への参加 (2) 諸会議 ○事務局会議 多摩にて、必要に応じ随時開催する。

多摩キャンパスでの39年間 新しい伝統を生んだ「人間関係を学ぶゼミ」

社会学部教授 稲増 龍夫



稲増龍夫先生

1984年4月。社会学部が多摩キャンパスに移転した年に、私は専任講師として赴任した。移転といっても、この年度の新入生から多摩キャンパスに通うというだけで、2年生以上はまだ市ヶ谷にいて、授業も両キャンパスで開講されていた。

経済学部棟が未完成だったので、前期は、経済学部新入生も社会学部棟で授業を行っていた。広大な多摩校地に1年生だけという景色は強く印象に残っている。ここから、新しい伝統が築かれるのだという空気が清々しかった。

ただ、こうした活動ができたのは多摩キャンパスのおかげだと思っている。市ヶ谷にいたら、周りに刺激が多すぎてゼミに専念することはなかっただろう。多摩は自然という絶好のロケーションも含め、制作活動に没頭できる環境であったことは大きい。

集してくれて、忘れられない1日となった。蛇足ながら、映像制作体験のおかげもあって、進路的にはテレビ関係が多く、NHK、東京キー局の33人を含め、全国で100人以上がテレビ局に入社し、80名ほどがテレビ制作会社に進んだ。自らが「テレビっ子」だっただけに、ささやかな恩返しだと思っている。

「稲増先生 フェアウェルパーティー」開催される



乾杯の発声をする稲増先生

去る3月12日(日)、稲増龍夫先生のご退職を記念して、芝公園内のザ・プリンス パークタワーホテルにてフェアウェルパーティーが開催されました。当日の様子を取材させていただきました。



「稲増龍夫先生 フェアウェルパーティー」の様子

社会学部での19年間をふりかえって 「社会調査実習」の充実した時間

社会学部教授 池田 寛二



池田寛二先生

私の大学教員人生の中で、最も充実した時間でした。社会学部ではさまざまな授業科目を担当しましたが、苦勞もありませんでした。楽しかったのが「社会調査実習」でした。学生を現地調査に引率し、地域の皆さんには戸別にお宅を訪問して長時間の聞き取りをさせ、現地にどまっ

私は2004年に法政大学社会学部に着任しました。社会学部に着任したのが、それ以前に3つの大学(兵庫教育大学、千葉大学、日本大学)に勤めておりまして、合算しますと42年間大学教員として研究と教育に携わってきました。社会学部での在職期間は19年です。特段に長い期間勤めさせていただけたいわけはありません。しかしながら、社会学部での19年間は、

私の大学教員人生の中で、最も充実した授業になりました。その後の飲み会で、学生諸君と実に楽しく歓談できたこともよい思い出です。その中には、卒業後、地元に戻って公務員として頑張っている同窓生も少なくありません。



相模原市青根での調査実習兼林業体験の一コマ(2008年)

最後の3年間はコロナ禍で対面型の現地調査を実施することが難しくなりましたが、どんな地域で調査を実施する時にも、市役所の職員の中に社会学部や法政の他学部の同窓生がいて、現地の皆さんとつないで日程などを調整していただ



一般社団法人 法政大学校友会

終身会員募集中！(終身会員 30,000円) 詳しくはお問い合わせ下さい。

<https://hoseinet.or.jp>

会長 竹中宣雄

副会長 田崎 稔 坂戸俊夫 大森廣行 三井和夫 中村寿美子

石渡洋行 岡本眞司 池谷文雄 田中利幸

監事 山崎正俊 発地敏彦 飯塚 昇 伊藤昌子

事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 九段校舎4階
TEL 03-3264-1831 FAX 03-3264-4770 E-Mail: jimukyoku@hoseinet.or.jp